

第10回 グリーンプランおおた推進会議議事概要

日 時：平成26年7月15日（火曜日） 19:00~20:30

出席者【推進会議委員】島田委員長、平賀委員、谷委員、長谷川委員、
原田委員、菅原委員、龍口委員、樋口委員、平澤委員、川野委員、
八嶋委員、佐藤委員

（欠席）池邊副委員長、牧野委員

【庁内推進会議委員】関係各課長10名（代理1名）

【傍聴者】2名（庁内関係職員6名）【事務局】5名

1. 議事概要

（1） 第9回推進会議議事録等の確認

<事務局より議事録等の確認>

（2） グリーンプランのスケジュールについて - 中間見直しまでの流れ -

<事務局より資料説明>

【質問・意見等】

●委員

- ・18色の緑づくりについて、出張所管内のまだ花を決めていない、残っている地域については、何か対策や検討をしているのか。

→次第の（4）にある「①18色の緑づくり支援事業について」において、所管から後ほど説明させていただきます。<事務局>

まちづくり管理課長

- ・補足をさせていただきます。委員の皆様は任期ですが、資料3-1「グリーンプランおおた推進会議スケジュール」によると、議員の任期のサイクルは2年ごとという会則になっており、それによると今年度末で2年が経つのですが、来年度に1番大事な中間見直しを控えておりますので、事務局からの考え方のご相談なのですが、本年度末に更に更新をして頂き、現在の議員の皆様は来年度の中間見直し等、この事業を引き続き行って頂ければと思っております。本日は事務局としての考え方のご紹介ということで、ひとつ宜しくお願い致します。

委員長

- ・事務局からの補足についてですが、個々の委員については事務局の方から後日ご連絡

絡をし、相談させていただくということでご対応をお願いします。

(3) グリーンプランの進捗報告について

①平成 25 年度事業進捗報告の見直しについて

<事務局より資料説明>

【質問・意見等】

●委員

- ・(3) ① 重点施策事業の進捗評価について、項目数が多すぎるという印象があったので、事業を整理、統合したのは良いと思う。
- ・メッセージベンチの事業を移動変更する必要があるのか。

→メッセージベンチは区民の皆様の力を結集して皆でつくるという思いのもと、「拠点公園、緑地の整備」という施策から、「みんなのみどりづくり」の施策の中への移動をさせていただきました。<都市基盤施設担当課長>

委員長

- ・基本的にそれぞれの事業に影響がなければ、効率よく個々の事業を整理、推進して行くのが好ましいと思う。

(3) ②区民委員への進捗報告に関する説明について

<事務局より資料説明>

委員長

- ・区民委員のご了承をいただき、例年どおり実施することによろしいですね。他の委員の皆様もご意見があれば事務局まで知らせてください。

(4) 平成 26 年度の主な事業について <各課長から資料説明>

- ①18 色の緑づくり支援について<環境保全課長>
- ②みどりに親しむ人を育てる拠点づくり等について<都市基盤管理課長>
- ③グリーンプランの広報等について<まちづくり管理課長>
- ④保護樹木、樹林調査について<まちづくり管理課長>

樋口委員

- ・(4)① 18 色の緑づくりで、まだ地域の花が決まっていない出張所の状況はどうなっているのか。

→まだ決まっていない出張所においても、選定に向けた動きがあるということでご理解いただければと思います。<環境保全課長>

平賀委員

- ・(4)① 私自身18色の緑づくりの活動を知らなかったということもあり、この活動がもう少し近い存在になれば良いと思う。
- ・活動を続けていくということが重要になると思うので、活動を行っている人を褒めるというメカニズムが必要なのではないかと思います。
- ・その人をより輝かせてあげたり、他の地区の方々の参考にしてもらうためにも、活動を表彰したりして、伝播していくような仕組みが造られると良い。

→区民ギャラリーで展示をしたり、環境展で写真を掲示し、区民の方々が緑づくりの活動をされているというご紹介をしていきながら、少しずつ事業を広げていければと考えています。<環境保全課長>

- ・意外と J:COM を見ている人が多いので、J:COM さんの協力があれば良い。

平澤委員

- ・3(1) 重点施策事業の表を見ると多くの項目に分かれていて、非常に総花的な計画に見える。もう少し目的を絞ったほうが、取り組みやすいのではないかと。
→計画の策定にあたっては、全国の良い事例を調べ、できるものを積極的に取り入れた結果こうなったと思われますが、結果として非常にポイントが見つらいので、その辺のご指摘を是非来年度の中間見直しの中でどのように整理していくのか、また評価シートの見せ方も含めて、検討していきたいと思っています。<まちづくり管理課長>

- ・(4)① 18色の緑づくりについて、(地区ごとに)自分の好きな花を植えて下さいというのも良いが、事業が散漫にならないよう、行政の方で地域ごとの花を選定すれば、より綺麗な仕上がりになるのではないかと思います。

→大田区には特別出張所が18か所あり、それぞれの特色があるというのが区の特徴であると考えています。そういった中で地域の方が主導的にお花を決め、このような形になっているとご理解いただければと思います。また、この活動を息の長いものにしていきたいという思いもあり、地域の方を主体として進めていって欲しいと

願っています。<環境保全課長>

谷委員

- ・(4)① 18色の緑づくりは、私の町会でも早くから着手し、大いに地域力も盛り上がっているように思う。
- ・大田区の中に18色という共通の目的をもって栽培を行っているので、お花の名前や出張所の名前があるプレートのようなものがあれば良いと思う。
- そのような声も聞いているところなので、息の長い活動となるためにも研究をし、課題として捉えさせて頂きたいと思います。<環境保全課長>

委員長

- ・各委員からご意見やご提案を頂いているが、まずは「やってみよう」というところから事業が熟成され、より良くなっていくのだと思う。
- ・事業が多いという見方の方も多いが、考え方を変えると、実は緑というものがいかに多くの事に関与し、環境づくりが進んでいるという風に理解してもらえればと思う。

川野委員（まちづくり推進部長）

- ・18色の緑づくりの馬込地区において、シクラメンが出来るのかという議論がされているというのを聞いたが、そういう過程が大切だと思う。地域に根付き、段階を経てまとまりになっていくのが重要だと思う。
- ・緑化指導というところで建築関係や、民間の皆様にもきめ細かな配慮をしていくことにより、大田区全体の緑が広まっていく。そのような地道な努力が大事なのだと思っている。

八嶋委員（都市基盤整備部長）

- ・ハード整備の面から見ても、さまざまな施策に関与しているということで、しっかりやって行かなければと自覚を新たにしている。
- ・公園整備を中心に、25年度に進捗した部分、また26年度新たに始めていく事業があり、大森南園場や水神公園についても、新たな整備を考えている。
- ・池上梅園のように、本日いらしてくださっている造園協会さん等とも連携して事業を進めていきたいと思っている。

佐藤委員（環境清掃部長）

- ・ 18色の緑づくりは昨年度から動き出していますが、今年度になって、まさに地域で花開いている事業であると思う。
- ・ 地域の方が花を選ぶために、何度も議論を重ねつつ選定していくという、そのプロセスが大切なのではと思う。
- ・ 18色の花が決まった地域においては、講習会も地域のほうで開催しており、そのように技術を学ぶ中で地域の人とかかわり、輪が広がってきていると思う。そういう地域の輪が広がっていくところも、18色の緑づくりの目指すところである。

長谷川委員

- ・ 保護樹木・樹林調査の結果が面白い。保護樹木・樹林に指定されて良かったという意見が圧倒的であり、この調査をやった意味が非常にあるといえる。
 - ・ 保護樹木・樹林調査を行ったご自宅の方にも、是非フィードバックをしてもらいたいと思う。
 - ・ 保護樹木・樹林調査の結果からも、ご自宅の樹木が保護樹木に指定されたということに誇りを持っているのだと思うので、その誇りを大事にしてあげて欲しいと思う。
 - ・ ご自宅で指定された保護樹木については、もし承諾が取れるのであれば、プレートなどを使って紹介するのも良い。
- 環境清掃部と協力して今後の施策に生かしてまいりたいと思います。

3.事務連絡

7月29日頃までに発言できなかったことを事務局までお願いします。

事務局:第11回グリーンプランおた推進会議は10月末から11月を予定しております。期日が決まりましたら、委員の皆様にご連絡をさせていただきます。

以上